

東邦大学学術リポジトリ

Toho University Academic Repository

タイトル	渡邊善則教授送別の辞
別タイトル	Farewell Professor Yoshinori Watanabe
作成者（著者）	藤井, 毅郎
公開者	東邦大学医学会
発行日	2022.03.01
ISSN	00408670
掲載情報	東邦医学会雑誌. 69(1). p.14 15.
資料種別	学術雑誌論文
内容記述	退任記念
著者版フラグ	publisher
JaLDOI	info:doi/10.14994/tohoigaku.2021_054
メタデータのURL	https://mylibrary.toho-u.ac.jp/webopac/TD51246408

渡邊善則教授送別の辞

藤井 毅郎

東邦大学医学部外科学講座心臓血管外科学分野

長きにわたる本学付属病院での心臓血管外科診療, 研究, 教育に加え, 本学における数多くの役職とその多大なる貢献に心から感謝致します. 初めてお会いしたのは, 渡邊教授が東京医科歯科大学への国内留学から帰局され, 私が入局2年目の時でした. 医局スタッフからはゼンソクという呼び名で親しまれ, 後輩達の面倒見もよく, 当時より, 歴代の教授に将来を期待された逸材でした. 先生が診療されてきた約40年間は, 本邦において心臓血管外科学が飛躍的に進歩したいわゆる黎明期から成長期でありました. その先生に約30年間, 公私ともにご指導賜りましたので私が送別の辞を述べさせていただきます.

私だけではなく多くの方々が渡邊教授に抱いている印象は, 絶大なる母校愛を持ちながら行動されていたことです. 本学において臓器別診療科への講座再編成が行われた1989年に胸部心臓血管外科学教室が新設され, 初代教授である小松壽先生と共に心臓血管外科診療が本格的に開始されました. 以後, 多大なご尽力により東邦大学の心臓血管外科学が飛躍的に進歩したのは間違いありません. 難易度が高く長時間の手術, 連日の当直, 夜遅くまでのカンファレンス, 学会準備に時間をかけたことも常日頃であり自己犠牲も多かったと思いますが, これを払拭したのは絶大なる母校愛そのものではないでしょうか? 加えて探求心も旺盛であり, 常温体外循環や逆行性心筋保護の研究成果は今日の安定した心臓大血管手術に大きく貢献し, 重症患者への対応にも興味を持たれ, 補助循環装置・人工心臓さらには渡米心移植まで経験されております. 虚血性心疾患に対する心拍動下冠動脈バイパス術は, 米国短期留学後すぐに執刀され, 心拍動下冠動脈バイパス術の優れた成績に大きく貢献し, 現在ではこの技術が日本のお家芸とまでなっています. 教授になられてからは, 東京都大動脈スーパーネットワークの運営と, 重点拠点病院として大田区70万人の緊急大動脈疾患の受け入れにご尽力され大動脈手術の成績向上に貢献されました. 私を含めた後輩達への熱心な手術指導, そして手術機会を後輩たちに譲り, 次世代外科医の育

成に取り組まれたことに心より感謝しております. 学術的にも医学博士号を含めた研究業績を量産し, 次のステップに進まれました.

もう一つ渡邊教授といえば絶大なる改革精神です. 心臓血管外科診療における改革はもとより, 先生の集大成として印象深いのは, 医学部長に就任され, 医学部と付属3病院のマネージメントをされたことです. 医学部長時代には, 医学部業務に臨床講座スタッフが参画する環境を整備され, 基礎医学講座のみならず大学職員が学生教育に興味を持ち行動する教育環境整備にご尽力されました. 基礎医学講座と臨床医学講座の橋渡し役もされ, 現在, 医学教育現場は以前より充実したものになっていることと思います. 奇しくも医学部長2年目には, 国内最初のCOVID19感染症患者が本学大森病院に入院し, 陣頭指揮を積極的に行っており, その様子は臨床において経験された過酷な状況によく似ていました. 本学全体がパンデミックに翻弄され, 職員のなかには肉体疲労や精神的ストレスにより業務に支障が出る場面もありましたが, これを強靱な精神力とリーダーシップ, そして絶大なる母校愛で乗り超えられました. これらの結果を出す生き様は, 重症患者などの長時間の手術, タフな術後管理, 患者家族への対応などをたくさん経験されたことにより培われ, この国難を乗り越えるための原動力になったのは間違いなくと思います. そして改革心は本学内にとどまらず, 本国特有の医療費膨大化への警鐘を促す診療報酬改定, 医療技術の評価に積極的に取り組まれました. 社会保険診療報酬支払基金専門審査委員会主任委員を歴任され, 最近では, 令和3年度社会保険診療報酬支払基金関係功績者厚生労働大臣表彰を受賞されたのは記憶に新しいことです. 今後は, 東邦大学だけではなく, 日本医療の舵取りを期待されていると思いますので, さらなる飛躍とご活躍を心から祈念しております.

今後, 学生を含めた後輩達の育成を託された私ですが, 未熟な点が多々あり翻弄される事があると思います. その時は, 遠慮なく適確なアドバイスを頂き, 機会があり

ましたら、医局、手術室にも足を運んで、昔と同じように接して頂けることを心よりお願い申し上げます。最後に、この先、先生の心臓血管外科手術の執刀は私がさせていただきますが、手術適応となる循環器疾患に罹患しないように十

分お体に気を付けてお過ごしください。医局員、東邦大学職員を代表して心から感謝致します。ありがとうございました。